

建設大臣賞

都市計画道路 鴨川東岸線整備事業

(表彰対象者：京都市建設局)

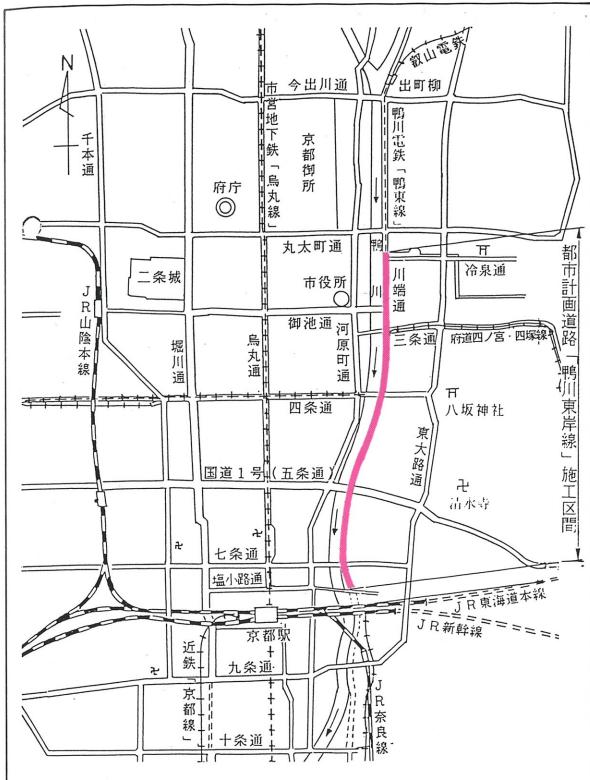
表彰の理由

鴨川の河川改修に合わせ、京阪本線を連続立体交差事業として地下化し、その上に琵琶湖疏水を暗渠で構築し、地表を鴨川東岸線として建設するという3層構造を採用しており、用地の高度利用を図るとともに、南北幹線道路を整備することにより交通渋滞の緩和、周辺市街地の活性化に貢献した。また、歩道には緑地帯や琵琶湖疏水の水を利用した「せせらぎ」を設けるなど、ゆとりと潤いのある都市空間の創設に貢献した。

事業のあらまし

都市計画道路「鴨川東岸線」は、連続立体交差化事業によって地下化した京阪本線の跡地に、新たに南北を結ぶ都心軸として整備した。慢性的な交通渋滞に悩む南北主要幹線の東大路通や河原町通の通行量の軽減とともに、国道1号や四条通などの東西主要幹線の道路機能を回復させ、都市の活性化と地域環境の改善を図ることを目的とした。また、琵琶湖疏水の改修も合わせて行った。

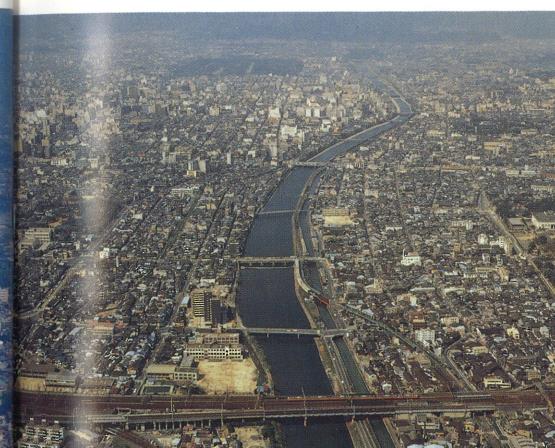
- 延長：3,270m
- 幅員：24～36m（基本幅員：24m）
- 事業費：2,058百万円
- 事業実施期間：昭和59年12月～平成3年3月



御池通から北を望む（左の水路はオープン部分の琵琶湖疏水）



完成後事業区間全景——南から北を望む



着工前事業区間全景——南から北を望む



完成後三条交差点付近——三条通南側から北を望む



三条交差点南側/バスターミナル——三条通から南を望む



三条通～四条通間遊歩道夜景



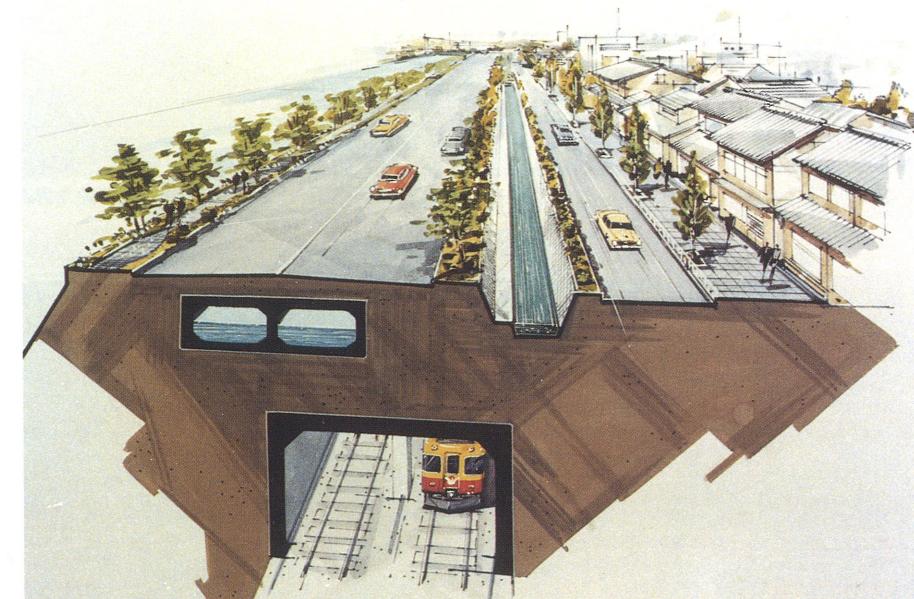
三条通～四条通間（車道部と左側民家との間が遊歩道）



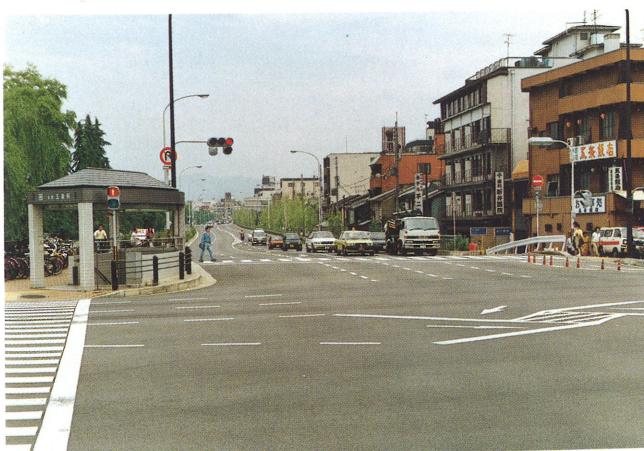
四条通～国道1号間（右の水路は琵琶湖疏水の水を利用した「せせらぎ」）



四条通～国道1号間



標準断面図——四条通～国道1号間



国道1号交差点から北を望む



七条通北側から北を望む

事業遂行上の工夫

京阪本線を連続立体交差化事業により地下化し、その上に琵琶湖疏水を暗渠で構築し、地表に鴨川東岸線を建設するという3層構造を採用することによって用地の高度利用を図っています。また、歩道には緑地帯のほか疏水の水を利用して「せせらぎ」を設けるなど、ゆとりと潤いのある都市空間を創設しました。

受賞者のコメント

京阪本線の地下化、琵琶湖疏水の機能維持及び鴨川東岸線の整備などさまざまな条件のなかで苦慮しましたが、建設省の指導のもとにこれらの事業が一挙にクリアでき、京都市の長年の懸案が解決できました。このことによって建設大臣賞を受賞したことは、大変光栄に思っており、苦労が報われたと実感するものです。